

令和6年度
泉佐野市立児童発達支援センター
事業所における自己評価結果
(保育所等訪問支援事業)

令和7年4月

泉佐野市立児童発達支援センター
保育所等訪問支援事業
泉佐野市子育て支援課

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
泉佐野市立児童発達支援センター		7年 4月 1日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境・ 体制・ 整備・ 運営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	50%	50%	訪問員の持ち出しでの教具教材もあるため、使用する教具教材に関してはルールの設定なども必要であると考えています。	支援に必要な教具教材は作成したり、計画的に購入を検討します。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	現状の利用者数であれば適切ではあるが、近年の傾向を考えると利用者が増えると考えられるため、増員は必要であると考えています。	訪問員の体制について相談、検討していきます。
	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	管理者、児童発達支援管理責任者、訪問員が、その都度、訪問の状況を共有することができています。	引き続き行っています。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	保護者の意見を真摯に受け止め、改善を進めています。	引き続き行っています。
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	管理者、児童発達支援管理責任者、訪問員が、その都度、訪問の状況を意見交換する場を設定することができています。	引き続き行っています。
業務改善	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	100%	0%	保護者や訪問先に対して外部評価を実施し、業務の改善につなげるようにしています。	引き続き行っています。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	児童発達支援センターにおける事業として、保育所等訪問支援事業を行っているため、センターにおける研修で受講や開催する機会を確保しています。	引き続き行っています。
	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	100%	0%	保育所等訪問事業の契約の際に十分な時間をとって、児童発達支援管理責任者だけではなく訪問員も同席し、子ども、保護者のニーズを聞きとり、支援計画に反映するように作成しています。	引き続き丁寧に行っています。
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	支援計画を作成する際には、1人だけの視点で作成すると偏りがみられる可能性があるため、導入開始時期は、なるべく複数人で対応するようにしている。	引き続き丁寧に行っています。
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	100%	0%	小中学校の案件であれば、教育現場で作成されている個別的教育支援計画も考慮し、支援計画を作成しています。また、各機関が集まった支援会議の場で、訪問先の支援者の意向も聞きとり盛り込むようにしています。	引き続き丁寧に行っています。
適切な支援の提供	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	保護者のサインをいただいた支援計画を、支援者とも共有しています。また計画に沿った支援に関しては、保育所等訪問支援の訪問員が提示するのではなく、訪問先とともに、可能な支援を考え実施するように心がけている。	引き続き行っています。
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	50%	50%	保育所等訪問支援事業の中で実施したツールではなく、医療機関や訪問先で実施したツールを活用し子どもの特性を共有しています。	引き続き丁寧に行っています。
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	保育所等訪問支援ガイドラインに沿った内容で実施できています。	引き続き行っています。
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	項目11と同様。	引き続き丁寧に行っています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	50%	50%	訪問前日または当日に内容確認はしています。訪問時の様子から、できる支援の内容や役割分担について確認しチームで連携しながら支援を行っています。	お互いの業務状況を共有し、意識して時間を作っています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	項目15のとおり、訪問後に支援者とのカンファレンスを通して今後の支援について協議する場を確保しています。	引き続き丁寧に行っています。
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	100%	0%	支援の中心は訪問先の支援者であることを常に念頭に置いて関わるようにしています。そのため、支援の内容に関しては訪問員からの提案ではなく、訪問先の意見を十分にとりいれながらすすめるように意識しています。	引き続き丁寧に行っています。
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	100%	0%	訪問時や支援者とのカンファレンス、保護者とのカンファレンスの内容を記録しています。振り返りを行うことで今後の支援につなげています。	引き続き丁寧に行っています。
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	訪問後は、毎回30分～1時間程度のカンファレンスを行っており、その中で、目標の達成状況などを確認し合い支援を進めています。	引き続き丁寧に行っています。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	児童発達支援管理責任者、訪問員で参加し、支援計画、訪問時の様子を共有するようにしています。	引き続き丁寧に行っていきます。
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	保育所等訪問支援に関わる児童発達支援管理責任者、訪問員が担当し、センター主催研修会として、市内の福祉・教育が連携を図ることができるよう、研修の計画・実施を進めています。	引き続き行っていきます。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	特に、年度の移行時には訪問支援を丁寧に行い、支援者が変わっても支援内容が変わらないように情報共有を行っています。	引き続き丁寧に行っていきます。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	100%	0%	保育所等訪問支援事業のみに関しての、助言や研修参加はできていませんが項目7にもあるように、児童発達支援センターとして、多岐にわたる内容で研修を受け質の向上は図れています。	他市の研修等、必要に応じて参加していきます。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	100%	0%	児童発達支援センターの職員として市の要保護児童対策地域協議会（障害児支援部会）に参加しています。また、センター主催で市内の通所・相談支援事業所連絡会の運営を行っています。	引き続き丁寧に行っていきます。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	保護者から連絡があった際には、その都度子どもの様子を聞き、子育てに関してともに考えるようにしています。また、訪問期間があった場合は、訪問員から連絡を取り、様子を確認しています。	引き続き丁寧に行っていきます。
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	50%	50%	家族支援プログラムや、サポートブックの記入をする会など、家族支援をする場が多いため、今後そのような情報提供も意識して行っていきたいです。	家族支援プログラムについては今後研究していきます。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	保育所等訪問支援契約時に、重要事項説明書に沿って丁寧に説明を行っています。	引き続き丁寧に行っていきます。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	100%	0%	保育所等訪問支援導入の支援会議で説明を行っています。また、初めて訪問支援が入る訪問先に対しては、管理職への説明を行っています。	引き続き行っていきます。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	保育所等訪問支援導入の支援会議時にニーズにあっているかの確認、修正や加筆についての確認を行っています。	引き続き行っていきます。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	項目29と同様。	引き続き行っていきます。
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	訪問後の保護者へのカンファレンス時に、支援を行っています。また、保護者から連絡があった際にはその都度、一緒に支援の方法について確認し合っています。	引き続き丁寧に行っていきます。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0%	100%	保護者同士やきょうだい同士の交流の場は実施できていません。実施するのであれば、どのような方法があるのかなど、他の機関の好事例などを知っていく必要があると考えます。	実施について現時点では考えていません。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	申し入れから、訪問までの期間はなるべく早く対応するようにしています。ただし、今後訪問支援の増加に伴い、迅速な対応が難しい場面も考えられるので、質の保障と迅速な対応のためにも訪問員の増員は必要であると考えています。	体制の整備について検討していきます。
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	0%	100%	個々の訪問への対応が中心であるため、定期的な通信等の発行には至っていません。実施するのであれば、どのような方法があるのかなど、他の機関の好事例などを知っていく必要があると考えます。	必要に応じて今後研究していきます。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	契約時に保護者に対して個人情報の取扱いについて確認しています。また、訪問先との情報の共有時にも個人情報の取扱いに関しては十分注意して関わっています。	引き続き行っていきます。
訪問先施設への説明等	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	50%	50%	口頭でのやりとりが中心になっているため、視覚支援などの方法も今後活用し、伝えたい内容が正しく伝わるような配慮の工夫はしていくことが必要であると考えます。	必要に応じて視覚支援など取り入れていきます。
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	100%	0%	訪問先から相談があった際は、その都度対応しています。	引き続き行っていきます。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	100%	0%	項目19と同様。	引き続き行っていきます。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	100%	0%	項目19と同様。	引き続き行っていきます。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	項目35と同様。	引き続き行っていきます。
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	100%	0%	訪問員からの一方通行の関わりにならないよう、相互の意見をとりいれ、関係を構築するように意識しています。	引き続き行っていきます。

非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	50%	50%	マニュアルの策定はしているが、保育所等訪問支援利用の家族への周知は十分に実施できていません。今後、契約時などの場で周知していくことは必要であると考えます。	業務継続計画を基に保護者にも伝えていきます。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	児童発達支援センターにおける事業として、保育所等訪問支援事業を行っているため、センターにおける研修や訓練で機会を確保できています。	引き続き行っています。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	児童発達支援センターにおける事業として、保育所等訪問支援事業を行っているため、センターとして検討できています。	引き続き行っています。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	項目43と同様。	引き続き行っています。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	50%	50%	支援計画に記載はできていないため、今後検討していくことが必要であると考えます。	保護者説明をし、支援計画に記載していくようにします。